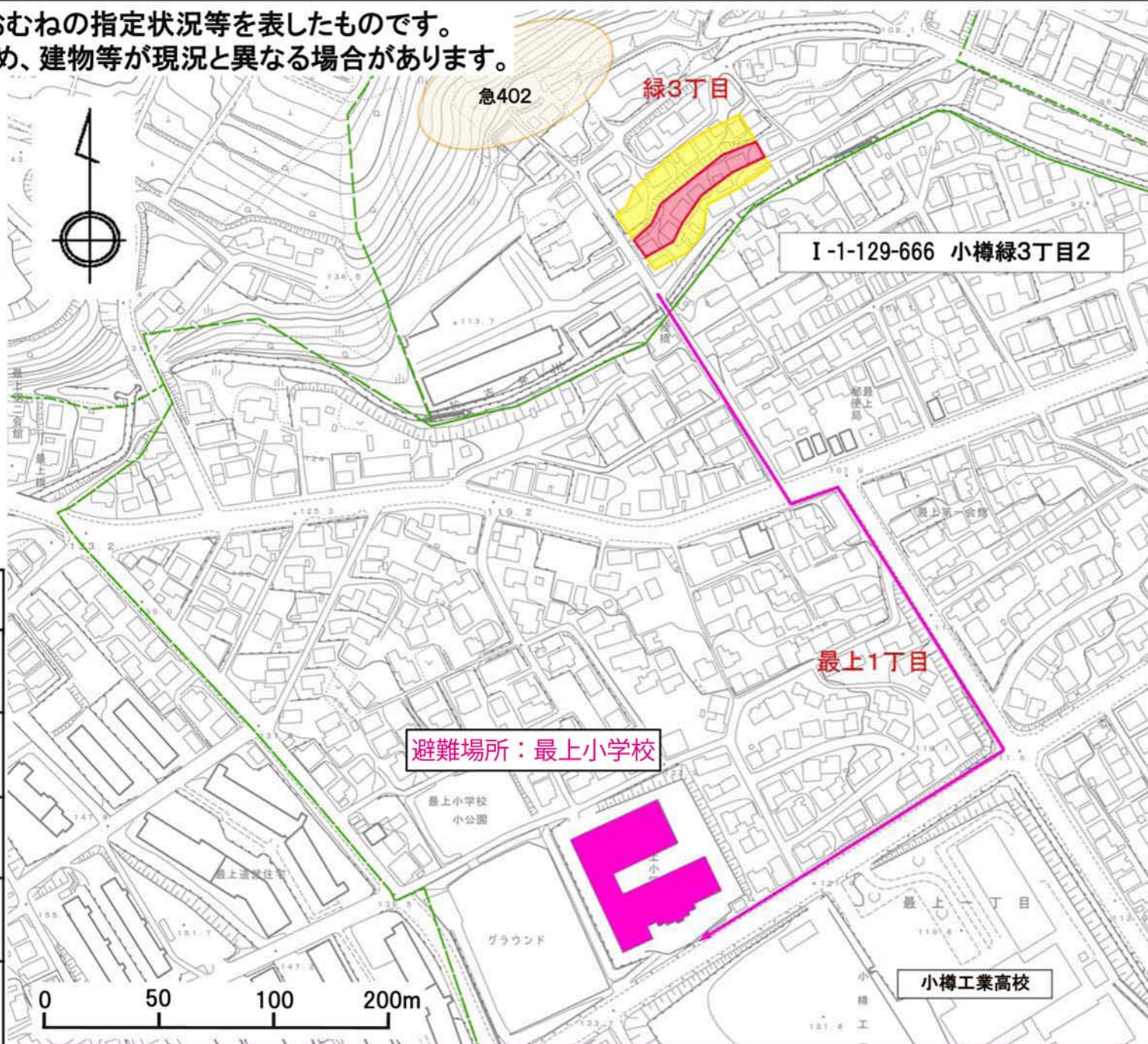


作成年月	平成28年4月
発行元	小樽市 総務部 災害対策室 小樽市 建設部 都市計画課
連絡先	電話(0134)-32-4111
避難場所	最上小学校 電話(0134)-23-8541

# 小樽 緑3丁目2 地区 土砂災害ハザードマップ

(住所:緑3丁目17番)の一部

※ 本マップは、表示された地区の、おおむねの指定状況等を表したものです。  
また、地図は最新ののものではないため、建物等が現況と異なる場合があります。



項目	記号
土砂災害警戒区域	
土砂災害特別警戒区域	
避難場所	
主要な避難道路	
土砂災害危険箇所	

- ◎黄色で囲まれた範囲(土砂災害警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。
- ◎赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。
- ◎茶色で囲まれた範囲(土砂災害危険箇所)は、現在のところ警戒区域等の設定はなされておきませんが、大雨時に土砂災害が発生するおそれがありますので、注意してください。
  - ・ 露岩部(岩盤が露出している箇所)の直下は、落石等による災害が発生する恐れがありますので、区域の有無に関わらず注意してください。
  - ・ 土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となる場合がありますので、気象情報や土砂災害警戒情報に注意してください。
  - ・ また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難場所などをよく確認しましょう。

土砂災害に備えて 大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

①土砂災害警戒区域や避難場所等を確認しておきましょう！

○土砂災害警戒区域

黄色で囲まれた範囲(土砂災害警戒区域)は「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。

○土砂災害特別警戒区域

赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域)は、「建築物に危害が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域」です。

※ 土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となる可能性がありますので、注意してください。

②雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報、予報、警報等の情報を入手しましょう！

○まずはテレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。

○雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう。

☆インターネットによるサービス

北海道防災情報ホームページ、気象庁ホームページ など

☆携帯電話によるサービス

北海道防災情報ホームページ など



〈大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報〉  
各種防災気象情報のタイミングの例

約1日程度前 大雨の可能性が高くなる	大雨に関する気象情報(警報・注意報に先立ち発表)
半日～数時間前 大雨が始まる強さが増す	大雨注意報(警報になる可能性がある場合はその旨告知)
数時間～ 1、2時間前	大雨に関する気象情報(雨の状況や予想を適宜発表)
雨が一層 激しくなる	大雨警報(大雨の期間、予想雨量、警戒を要する事項などを示す)
記録的な 大雨出現	記録的短時間大雨情報(数年に一度の猛烈な雨が観測された場合に発表)
被害の拡大が 懸念される	土砂災害警戒情報(土砂災害の危険度がさらに高まった場合に発表)



※気象庁ホームページを参考に作成

■土砂災害警戒情報が発表されたら

- 早めの避難を心がけましょう。
- 消防車や広報車等の呼びかけに注意しましょう。
- 土砂災害の発生する恐れのある危険な場所には近づかないようにしましょう。

③大雨が続き、以下のような前兆現象を見つけたら、早めの避難を心がけましょう！  
また、市役所などの関係機関へ通報しましょう！

こんな前兆現象に注意！

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報して下さい。



④避難準備情報が出たら、家族との連絡、非常用持出品の用意などを開始しましょう！

⑤避難勧告、指示などの連絡があったら直ちに計画された避難場所などへ避難しましょう！

⑥避難の際はこんなことに気をつけましょう！

- ・避難場所へ避難する場合は、他の土砂災害危険箇所や浸水想定区域(浸水するおそれがある区域)を避けた避難経路を選択しましょう。
- ・溪流から直角方向に避難し、できるだけ溪流から離れましょう。
- ・携行品は限られた物だけ(非常用持出品)にしましょう。
- ・服装は軽装とし、帽子、雨合羽、防寒用具を携行しましょう。
- ・火気の始末をし、火災が発生しないようにしましょう。
- ・戸締まりをしましょう。

土砂災害に関する情報の伝達方法(警戒避難時)

